重点目標一覧表

担当部局名	真田地域自治センター

【平成２５年度重点目標】

1 重点目標　地域公共交通の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
① 料金低減バス実証運行のため、真田地域協議会、真田地域公共交通利用促進協議会をはじめとする諸団体にPR説明会を開催 ② バス利用促進イベントの開催 ③ 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催	① 真田地域協議会、自治会及び各高校の真田支部PTA総会で説明 ② 7月園児の絵画 93点を展示する「七夕バス」運行 8月3日の真田まつりに併せ路線バス乗車体験 12月「クリスマスイベント」を実施 小中学校を対象に「バスの乗り方教室」を2回開催 2月真田町文化協会による「ギャラリーバス」運行 ③ 7月2日総会を開催

2 重点目標　真田地域の特色を活かした誘客の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
①ゆきむら夢工房拠点化整備 (1)トイレ増築工事、大型駐車場整備 (2)休み処、お土産品の拡充 (3)そば打ち教室の開催 ②真田氏関連施設周遊車両による誘客 ・6月～8月の土日運行 ③真田氏歴史館特別展 ・真田氏関連の遺品展示（７月～９月） ④観光ルート整備 ・真田の郷観光案内板の整備	① (1) 3月ﾄｲﾚ増設工事(60.06㎡) 竣工、大型駐車場の整地 (2) 休み処を模様替えし、お土産13品追加、販売面積を3㎡拡充 (3) そば打ち教室等を10回開催(参加者91人) ②6月～8月の土日、26日間、41回運行 利用実績197人 ③ 古地図等14点、真田家関連所蔵品2点展示 期間中入館者7,524人（前年比△24%） ④ 観光ルートを2ルート策定　案内看板9箇所設置

3 重点目標　地域内分権確立に向けての住民自治組織の検討

具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
① 住民自治組織のあり方を地域協議会と自治会連絡会議で協議・検討 ② 地域づくり委員会の継続性強化の検討 ③ 自治センターだよりによる発信	① 2月地域協議会との意見交換実施 ② 11月自治会長に地域づくり委員長職の設置を依頼 ③ 隔月（年6回）に発行、分科会協議報告を全文掲載

4 重点目標　菅平高原スポーツ観光の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
①菅平高原スポーツランド整備 (1)第３種公認継続に向け陸上競技場の施設整備 (2)菅平高原スポーツランド指定管理者制度移行検討 ②菅平高原スポーツ観光拠点施設整備検討 ③ラグビーワールドカップ2019キャンプ地誘致の体制検討	① (1) 11月28日整備完了、第3種陸上競技場公式認定 (2) 市民サービスの維持･向上などの課題等を検討 ② 合宿チーム（893チーム）のアンケート調査による利用者ニーズを把握。国等と5回協議 ③ 8月試合会場候補地説明会に出席 誘致する会と連携し国、県等への誘致活動を実施

5 重点目標　災害時要援護者登録制度の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
① 自治会長に対する説明会 ② 各自治会における説明会、役員との打合せ ③ 民生児童委員協議会、社会福祉協議会との連携 ④ 自治会での制度取組	① 5月、1月の2回自治会長に説明 ② 7月全自治会で説明。13自治会で役員の説明会開催 ③ 4月民生児童委員協議会で制度推進の打合せ ④ 今年度12自治会で制度取組を決定（累計33自治会）

【平成２６年度重点目標】

重点目標　真田地域の資源を活用した誘客体制づくりの推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
①ゆきむら夢工房拠点化整備 ・大型駐車場等整備 ②真田氏歴史館企画展 ・「大阪冬の陣」をテーマに特別展示 ③観光ルートの整備 ・真田の郷観光案内板等の整備 ④地域力を結集させた真田まつりの実施 ⑤真田地域内の観光資源活用の促進 ・ふるさと公園の有効活用、トイレ等の検討	①2月末までにゆきむら夢工房等外構完了 ②7月～9月　期間中入館者8,000人 ③3月末までに2ルート・20箇所整備完了 ④参加者8,000人 ⑤3月末まで

重点目標　地域公共交通の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
① 真田地域協議会、真田地域自治会連絡会議への説明のほか、チラシや有線放送によるPRの積極的推進 ② バス利用促進イベントの開催 (1)新規企画として、定期券回数券特別斡旋企画を実施 (2)真田地域公共交通利用促進協議会主催により各種イベントを開催 ③ 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催	①平成28年を目途に乗降者数対H24年度比1.5倍 ② (1)9月 3月 (2)通年 ③7月上旬総会開催　役員会は随時

重点目標　菅平高原スポーツリゾート地の整備促進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
①菅平高原観光トイレの改修整備 ・内外装改修整備、ウォシュレット化の実施 ②菅平高原スポーツ観光拠点施設整備検討 ③ラグビーワールドカップ2019キャンプ地及びその前後の冬季オリンピック、東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿地誘致の推進 ④菅平高原の自然環境保全に向けた植生の調査・研究 ・関係機関(真田教育事務所・筑波大・環境省等）、関係者及び関係団体による連絡会の設立	①12月上旬までに3箇所(唐沢の滝・菅池・大松山)公衆トイレ整備を完了 ②施設内容等の具体化を検討 ③通年 ④3月末までに学習会を３回開催

重点目標　地域内分権確立に向けての住民自治組織設立の検討

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
① 住民自治組織づくりの検討・推進 ② 地域づくり委員会の機能強化 ③ 自治センターだよりによる地域内分権等に関する情報の発信	①地域協議会・真田地域自治会連絡会議での協議 ②11月までに地域づくり委員長選出依頼 ③年度内 隔月6回発行

重点目標　災害時要援護者登録制度の普及、推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
①制度未導入自治会に対する説明会 ②実効性を高めるため、防災訓練等自治会での活用に向けた働きかけ ③更新作業を通じ未登録者へ働きかけ ④関係機関の連携強化	①3自治会 ②自治会長対象の説明会実施 ③6月～10月 ④制度推進打合せ、研修会の実施

市長指示事項	市長指示事項
・菅平高原の振興策については、行政としてできることを着実に進めるとともに、スポーツだけでなく自然など他の分野でのＰＲについても研究し取り組むこと。 ・大阪城入城400年を契機と捉え、関係部局とも連携し、観光に結び付くようセンターとして取り組むこと。	・真田御屋敷公園等真田氏関連観光地の観光客受け入れについては、センターとして対応できるよう体制を整えること。・菅平の課題については、具体的に行動に移し実現に向け計画的に進めること。・地域内分権の確立については、着実に進めること。・真田氏とゆかりのある自治体との連携を一層進め、観光施策の充実を図ること。